

ハレット

真剣さにあふれたコスチュームデッサン会

南支部 菅田 良雄

立春が過ぎたとは言え、まだまだ寒さが厳しい時期ですが、当日の2月15日(日)は、初夏を思わせる暖かさの中、白方コミセンにおいて、美術連盟恒例のコスチュームデッサン会を実施しました。今回のモデルは、日頃身近なところで我々がお世話になっている東海ステーションギャラリーの光田さんをお願いしました。

参加者は、24名(男13名、女11名)でした。午前10時から昼を挟み、午後4時まで油彩、水彩、パステル、鉛筆によるデッサンに取り組みました。一般的に難しいと言われている人物画です。どの顔も、真剣さと、熱心さにあふれていました。

最後に、このデッサン会実施にあたり、ご協力いただきました方々に対し、心より御礼申し上げます。



眉はこうなってる、鼻はこういう具合かなー。

平成21年 新年会・研究会

時間を過ぎるのも忘れて

西支部 豊島 和久

「名画当てクイズ」意外と知らない事だらけ



初雪が舞う1月24日、中丸コミセンにおいて東海美術連盟の新年会及び

ゲーム」、鏡を見ながら神経を後ろに集中させて投げる「ピンポン玉後ろ投げゲーム」など、我を忘れての熱中ぶりも笑いのうちに終わり、副理事長の三本締めで閉会しました。

最後にご協力いただきました皆様に深謝申し上げますと共に、今年も皆様にとって良い年でありますよう祈念いたします。

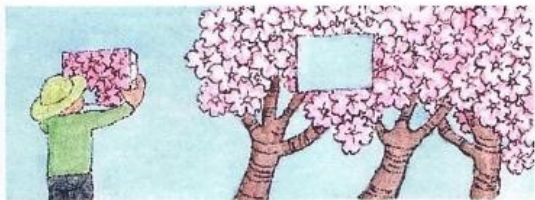
研究会が参加者40名で行われました。

理事長の挨拶に始まり、乾杯の音頭へと進み、飲食しながら歓談の内に個々の抱負などが語られ、時間の過ぎていくのも忘れる楽しい一時でした。

また諸先輩を始め、会員の皆様方のご協力により、計画したクイズ、ゲーム等が行われました。美術連盟にふさわしい「名画当てクイズ」読み方の難しさに奮闘した「難読地名当てクイズ」では、普段から蓄え、研かれている経験や知識をフルに出し合いました。そして微妙な平衡感覚を競い合う「ピン起こし



ピン起こしゲーム なかなか起きないビール瓶に一苦労



Teaタイム 大内正房さんに & A

● 絵はいつから、何歳ぐらいから、始めましたか？

▲ 7歳ぐらいのとき、飛行機や戦車等の絵を教室で描いて兵隊さんの慰問袋に入れて送ったことが始まりのように思います。

● 淡彩を多く描かれていますが、淡彩画を描くきっかけは？

▲ 初めは油絵を10年くらい描いていましたが、淡彩画は少ない時間でその場で仕上げることができるのが良いと思いました。ある時先生の描くのを見て、今後はこれだと決めました。

● 好きな画家、影響を受けた方がありましたか？

▲ 22～23才頃、原研の美術部に入り、講師であった茨大の巻島先生の影響を受けました。昭和35年三菱原子燃料(株)に移り、この会社で美術部を作りました。途中から巻島先生から塚原先生を紹介して頂き、以後、現在も指導を受けています。

● 絵を描くことで、良かったと思われること、また悩みはありますか？

▲ 絵を描き始めると2～3時間は時間を忘れ、絵に没頭できること、方々にでかけられること、仲間と話しができることが良いと思っています。

● 絵を描く以外に好きなこと、していることは何ですか？

▲ 絵を描いているときは、話をしないので、心肺を鍛える民謡を習っています。また、古文書の勉強会とウォーキングをそれぞれ週1回程度行っています。

● ご自身で発表している展覧会は東海村を除くとどのような場所で何という展覧会がありますか？

▲ 水戸市で6月頃、淡彩展に出品しています。



ウォーキングで体調は万全！これで絵も万全！

春を彩るアートロード展

新しい息吹も

第21回アートロード展は、2月1日(日)から4月30日(木)までの期間で開催中である。作品をより身近に感じとってもらおうという主旨のもと、会員96人の作品が早春の村内各地を彩っている。協賛店数が昨年より3店増え、30店舗となったことがうれしい。飾りっぱなしにならないよう、時々様子を伺ったり周囲の方々に大いに宣伝していただきたい。

絵画関係のギャラリー展は2月8日(日)から2月14日(土)までの期間で開催された。出品作品数は56点でほぼ例年通りであったが、華道

作品と華工芸作品が新たに加わったことが新鮮であった。



ギャラリーの作品展 絵画・彫刻・華道・華工芸部門

Information

4/5～4/11 東海ステーションギャラリー
第2回絵画教室展

東海ステーションギャラリー

4/12～4/25 芸大・茨大・筑波卒業終了制作選抜展

東海ステーションギャラリー

5/24～6/6 東海村芸術祭(美術連盟)

東海ステーションギャラリー